スライサー

フィールドの値の一覧から値を選択して、同じページのほかのチャートを絞り込む

◇機能

「スライサー」は、「フィールド」に追加したフィールドの値を一覧で表示し、選択した値で、同じページのほかのチャートを絞り込むチャートです。値を選択すると、ほかのチャートは、その値のレコードだけで集計し直されます。数値のグラフは表示しません。

例：「地域」の値（九州・東日本・西日本）を一覧で表示します。「東日本」を選択すると、ほかのチャートは東日本のレコードだけで表示されます。



※一覧の値は、文字コードの順に並びます（《軸の並べ替え》で逆の順にできます）。

※スライサーで絞り込んでも、元のテーブルは変更されません。

※ほかのチャートのテーブルと関係のないテーブルのフィールドの場合は、そのチャートは絞り込まれません（テーブルの関係は「リレーションシップ」で設定します）。

◇メニュー

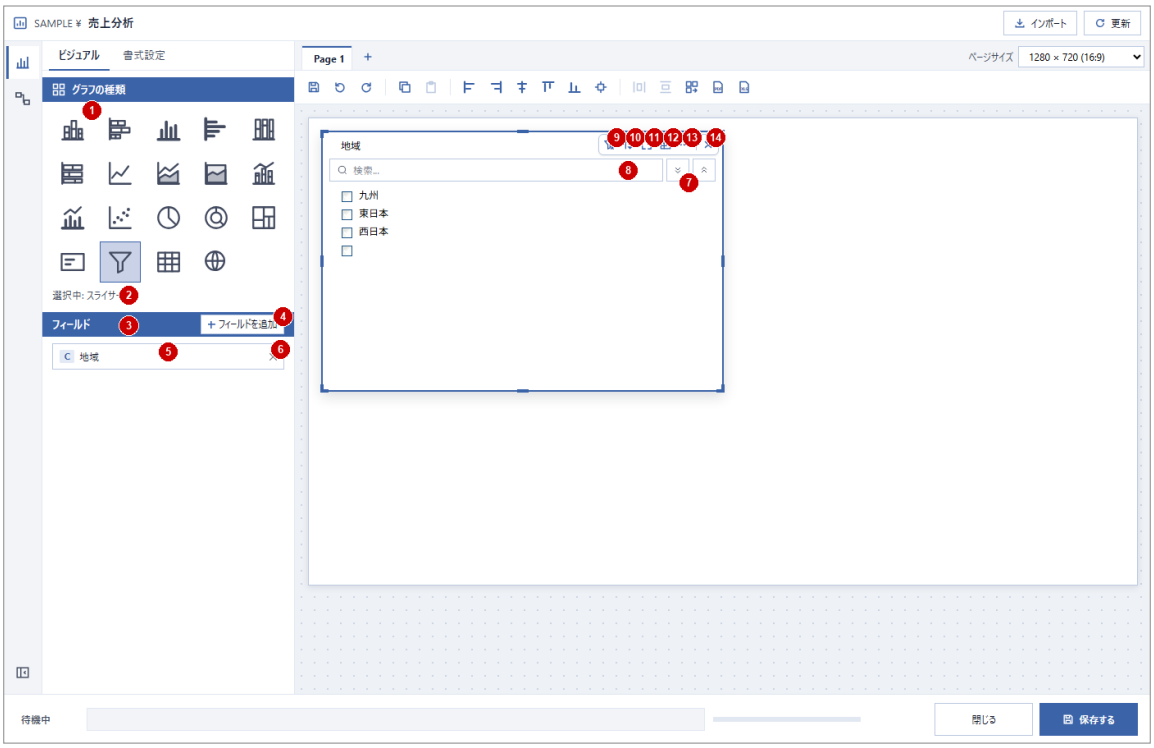
《プロジェクト》-《チャート》でチャート画面を開き、「ビジュアル」タブの《スライサー》アイコンをクリックします。

※チャート画面の共通の操作（テーブルの追加・ページ・保存・エクスポートなど）は、「チャートの作成」を参照してください。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容

■「ビジュアル」タブ



1. チャートの種類 ：《スライサー》が選択されています。ほかのアイコンで種類が変わります。
2. 選択中の種類 ：選択しているチャートの種類の名前が表示されます。
3. 「フィールド」 ：絞り込みに使用するフィールドです。集計はされません。
   - 文字・数値・日付のどのフィールドでも使用できます。
   - 2つ以上のフィールド（30個まで）を追加すると、値が階層で表示されます。
4. 《フィールドを追加》 ：フィールドを選択する画面を開きます。
5. フィールド ：追加したフィールドです。ドラッグで、順番を入れ替えられます。
6. 《×》 ：フィールドを外します。
7. スライサー ：値をクリックして選択します。上部をクリックで選択、ドラッグで移動、周りの点で大きさを変更します。
   - Ctrlキーを押しながらクリックすると、2つ以上の値を選択できます。
8. 検索 ：入力した文字を含む値だけを一覧に表示します（絞り込みには使用されません）。
9. 《選択をクリア》 ：選択をすべて解除します。ほかのチャートは、すべてのレコードで表示されます。
10. 《軸の並べ替え》 ：一覧の値を昇順で並べ替え・降順で並べ替えで並べ替えます。
11. 《フォーカスモード》 ：スライサーを大きく表示します。もう一度クリックすると元に戻ります。
12. 《テーブルとして表示する》 ：値の一覧を表で表示します。
13. 《…》 ：「画像エクスポート」「データをエクスポート」を選択します。
14. 《×》 ：スライサーを削除します（「チャートを削除しますか？」の確認があります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「設定」

スライサーの表示のしかたと、値の選択のしかたを設定します。



15.「スタイル」　：スライサーの表示のしかたです。
- 「一覧表示」（初期値）：値をチェックボックスの一覧で表示します。
- 「選択メニュー」：値の一覧を、クリックで開くメニューにします。
- 「範囲指定」「以前」「以降」：数値・日付のフィールドの場合に、範囲をスライダーで指定します（以前：上限だけ、以降：下限だけ）。

16.「単一選択」　：値を1つだけ選択できるようにします（初期値：オフ）。

17.「Ctrlキーを使った複数選択」　：オンの場合（初期値）は、クリックで1つの値を選択し、Ctrl＋クリックで値を追加します。オフの場合は、クリックで値の選択・解除が切り替わります。

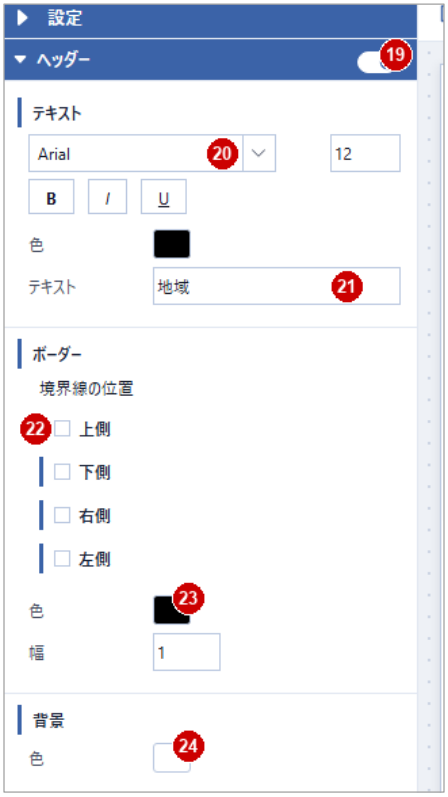
18.「すべて選択」　：一覧の先頭に、すべての値を選択する項目を表示します（初期値：オフ）。

※「スタイル」が「範囲指定」「以前」「以降」の場合は、「スライダー」の書式も設定できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「ヘッダー」

スライサーの上部のタイトル（ヘッダー）の表示を設定します。



19.「ヘッダー」　：ヘッダーを表示します（初期値：オン）。

20. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：ヘッダーの文字の書式です（初期値：Arial、12、黒）。大きさは8～60です。

21.「テキスト」　：ヘッダーの文字です。空欄の場合は、フィールド名が表示されます。

22.「境界線の位置」　：境界線を引く位置（「上側」「下側」「右側」「左側」）を選択します。

23.「色」・「幅」　：境界線の色（初期値：黒）と太さ（初期値：1）です。

24.「背景」　：ヘッダーの背景の色です。初期値は透明です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「値」

一覧の各値の表示を設定します。



25. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：値の文字の書式です（初期値：Arial、12、黒）。大きさは8～60です。
26.「パディング」　：値の周りの余白です（初期値：1）。
27.「境界線の位置」　：各値の境界線の位置（「上側」「下側」「右側」「左側」）を選択します。
28.「色」・「幅」　：境界線の色（初期値：黒）と太さ（初期値：1）です。
29.「背景」　：値の背景の色です。

※数値の項目に範囲外の値を入力した場合は、その値は使用されず、スライサーは変わりません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇スライサーの例

次の売上データ（一部）から作成した例です。

売上番号	計上日	地域	営業担当者	商品分類	数量	金額
S001	2024/01/01	東日本	青木	食品	1	1000
S005	2024/05/05	西日本	青木	食品	5	5000
S009	2024/03/09	九州	青木	食品	4	2000
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

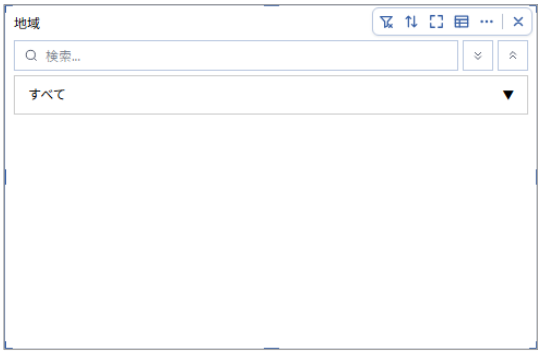
■「フィールド」に2つのフィールドを使用する場合

フィールド：地域、営業担当者。地域の値の左の矢印をクリックすると、その地域の営業担当者が表示されます。



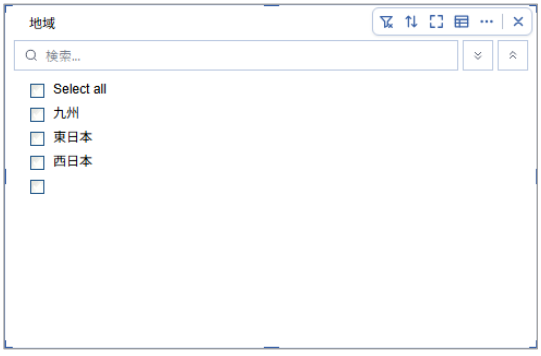
■「スタイル」を「選択メニュー」にする場合

値の一覧が、クリックで開くメニューになります。



■「すべて選択」をオンにする場合

一覧の先頭の項目で、すべての値を選択・解除できます。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇スライサーが表示されない場合

フィールドの設定に誤りがある場合は、値の一覧の代わりに、スライサーの枠の中にメッセージが表示されます。

※「このビジュアルを表示できません。サポートされていないリレーションシップセットを持つフィールドを使用しています。」
→ 2つ以上のフィールドを使用する場合は、同じテーブル、または直接の関係があるテーブルのフィールドにします。

※31個目のフィールドを追加しようとすると、「現在、フィールド数が多いため、スライサーですべてのデータを表示できません。表示できるフィールドの最大数は30です」と表示され、追加できません。

◇操作ログ

保存すると、チャートごとに次のコマンドが記録されます（共通の部分は「チャートの作成」を参照）。

CREATE CHART TYPE "SLICER" **TABPAGE** 1 **TABNAME** "Page 1"
FIELD-AXIS TABLE "テーブル" **FIELD** [フィールド] ･･･ **SLICER-STYLE** "スタイル"
書式のキーワード ･･･ **WIDTH** 620 **HEIGHT** 400 **CHART-X** 20 **CHART-Y** 20 ･･･

軸と主な書式のキーワードは、次のとおりです。

キーワード	内容
FIELD-AXIS	「フィールド」のフィールド（2つ以上はANDでつなぐ）
SLICER-STYLE	「スタイル」（15）
SLICER-SELECT / SLICER-SELECT-ALL	値の選択のしかた（16～18）
SLICER-MIN / SLICER-MAX	スライダーで指定した範囲
SLICER-HEADER…	「ヘッダー」（19～24）
SLICER-VALUE-…	「値」（25～29）
SLICER-SLIDER…	「スライダー」

※「SLICER-MIN」「SLICER-MAX」は、スライダーで範囲を指定した場合に記述されます。

例

CREATE CHART TYPE "SLICER" TABPAGE 1 TABNAME "Page 1" FIELD-AXIS TABLE "売上データ" FIELD [地域] SLICER-STYLE "Vertical list" SLICER-SELECT "ctrl" SLICER-SELECT-ALL "off" SLICER-HEADER "on" ･･･ WIDTH 620 HEIGHT 400 CHART-X 20 CHART-Y 20 PAGE-SIZE 1280 720 ･･･

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.